

運輸安全・安心通信

今月のテーマ

雪道にしっかり備えましょう

近年は、12～1月に予想を超える大雪となるケースが増え、早めの適切な雪道対策が求められます。もし、交通事故やスリップ、大雪等で車両が立ち往生してしまうと、周辺道路の大渋滞を招き、迂回路のない地域では大混乱を来します。降雪地域を運行する方は、タイヤチェーンを必ず携行するなど、雪道対策を万全に整えてから出発してください。



雪道の注意スポット

雪国の方が、雪の少ない地域の人と比べて雪道での事故が少ないのは、運転技術が高いからではありません。それは、今までの雪道での運転経験により、危険な場所や状況を予測しながら運転しているからです。雪道に不馴れな人でも、雪道で注意すべき場所をあらかじめ知ってから走行することで、危険を回避する確率もグンと上がります！

峠道	山間部を通る峠道は、急カーブや日中でも日陰の部分が多く凍結している可能性が高い場所です。また、気象変化も激しいため、注意して通過するようにしましょう。
長い坂道	長い坂道は、勾配が緩やかでも凍結して一度スリップし出すと車体のコントロールが効かなくなります。玉突き事故の恐れもあるので、車間距離を十分にとり、一定速度で慎重に走行しましょう。
早朝の舗装路	早朝の舗装路は、前日にツルツルに凍結した路面上に、薄雪が積もっている場合があります、想像以上に滑りやすくなっている事があります。交通量の少ない道路を走行するときは気を付けましょう。
トンネルの出入口	トンネルの出入口付近は、山からの吹きさらしの風があたり、出入口付近だけ凍結していることがあります。また、トンネルは緩やかに傾斜していることが多いので減速して通過しましょう。

雪道走行の心得

<p>注 出発前</p> <p>気象や道路の情報確認！</p> <p>出発前の確認はもちろん、例年の初雪時期等を確認しておくことで、余裕をもって冬装備の準備ができます。</p>	<p>注 出発直後</p> <p>燃料満タン！冬は給油もお早めに</p> <p>極寒でのガス欠は命取り！普通の道に比べ雪道は燃料消費が早いものです。渋滞による予想外のガス欠にならないよう十分注意を。</p>	<p>注 走行中(降雪前)</p> <p>早めの装着！冬タイヤ・チェーン！</p> <p>ノーマルタイヤでの雪道走行は罰則対象になります。チェーンの装着方法をしっかり確認しておきましょう。</p>
--	---	--

<p>注 走行中(降雪時)</p> <p>車間距離を十分にとり、心と時間にゆとりを持って</p> <p>雪道はすべるもの！冬用タイヤへの過信は禁物。絶対スリップしないタイヤはありません。無理をせずゆとりをもった運転を。</p>	<p>注 走行中(緊急時)</p> <p>強い地吹雪が発生したら、すぐに安全な場所に避難</p> <p>視界ゼロ！恐怖のホワイトアウト現象に注意。視界が悪くなったらハザードランプを付け、急ブレーキをかけないようにしてスピードを落としましょう。</p>
---	---

発行者

上杉行政書士事務所 代表 上杉 麻美
神奈川県横浜市旭区左近山16-1 1-30-806
TEL&FAX 045-442-3592

行政書士法人シグマ 代表社員 阪本 浩毅
東京都中央区銀座一丁目13番1号
ヒューリック銀座一丁目ビル4階
TEL 03-6868-7256 FAX 03-6800-3604

ご用命・ご相談がございましたらお気軽にお問合せ下さい

一般社団法人 運輸安全総研トラバス
Mail tb@trubus.org ホームページ <http://trubus.org/>

